科目名			災害産業保健学実習		
科目責任者			立石 清一郎 (災害産業保健センター 教授)		
開講時期:		2年次	単位数:		4 単位
			時間数: 90分× 60 回		
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>発表されている論文を読みスコーピングレビューを行う。また、過去や現在に被災した事業場に対しインタビューを行ったり、すでに実施されているインタビュー結果を読んだりし、インタビューデータから質的研究の手法を用いて災害時に発生する課題について抽出を行う。また、災害産業保健センターに蓄積されている過去の災害時の健康調査を用いて量的評価の実習を行う。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 災害に関連する自らの興味のあるテーマについてスコーピングレビューを作成する 2) 過去のインタビューデータを読み課題のテーマを抽出する 3) 質的研究の一般的手法について理解する 4) 量的研究の一般的手法について理解する 5) 作成されたデータからリスクの優先順位を検討する。 6) 作成されたデータをもとに改善提案を行う。 7) 作成されたデータから災害対応に関するリスクコミュニケーションを行う。 					
● 評価方法		実習参加状況50%、発表50%等で総合評価する。			
● 参考文献		災害産業保健入門(労働調査会)、災害復興法学(慶應技術大学出版)、災害精神医学ハンドブック(誠信書房)、産業保健マニュアル(南山堂)			

● 授業内容

内容	担当教員
災害に関連する論文のスクーピングレビューを行う。	立石
蓄積されたデータをもとに(在学中に大規模災害が発生した場合は発生した災害のデータをもとに)質的・量的分析を行う。	立石